

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年10月27日

計画の名称	野洲市中心市街地における流域一体となった総合的な浸水対策の推進、生活環境の改善と安心・安全の確保、災害に強いまちづくり（その2）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）							重点配分対象の該当					
交付対象	野洲市												
計画の目標	下水道整備を行い快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 下水道施設の可能な限りの延命化に努めつつ、適正な機能確保のため老朽化した管渠・ポンプの改築更新を行うことで効果的な安全・安心の確保を図る。 集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作るとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。 安心・安全、快適な暮らしを実現し良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,029	A	1,029	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	老朽化した既設汚水処理施設の下水処理場への統合等下水道処理人口普及率を93.5%(H27)から96.7%(H32)に向上 下水道の処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）	94%	95%	97%
2	下水道マンホールポンプの老朽化対策率を54.8%(H28)から80.6%(H30)に向上 マンホールポンプにおける長寿命化対策率 長寿命化対策済みのマンホールポンプ数（基）/長寿命化対策をすべきマンホールポンプ数（基）	55%	81%	81%
3	下水道マンホール蓋更新の計画策定を行い老朽化対策率を2.9%(H28)から4.9%(H32)に向上 マンホール蓋における長寿命化対策率 長寿命化対策済みのマンホール蓋数（基）/長寿命化対策をすべきマンホール蓋数（基）	3%	4%	5%
4	下水道による都市浸水対策の達成率を0%(H28)から1.9%(H32)に向上 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合 概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha）/都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）	0%	2%	2%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
下水道の処理人口普及率は非重点計画と重点計画の合算値である。												

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	野洲市	直接	—	管渠（ 污水）	改築	野洲市公共下水道長寿 化対策実施	マンホールポンプ 8箇所	野洲市	■	■	■			15		策定済	
		長寿命化																		
	A07-002	下水道	一般	野洲市	直接	—	管渠（ 污水）	改築	野洲市公共下水道長寿 化対策実施	マンホール蓋 150箇所	野洲市		■	■	■	■		45		未策定
		長寿命化																		
	A07-003	下水道	一般	野洲市	直接	—	管渠（ 污水）	改築	野洲市公共下水道長寿 化計画策定	管路施設（マンホール蓋）	野洲市	■						10		策定中
		長寿命化																		
	A07-004	下水道	一般	野洲市	直接	—	管渠（ 雨水）	新設	童子川排水区 雨水渠の 整備	雨水整備 雨水渠 W4, 500mm ×H1, 400mm他 L=850m	野洲市	■	■	■	■	■		700		—
	A07-005	下水道	一般	野洲市	直接	—	管渠（ 雨水）	新設	効率的な施設計画の見直 し	施設計画の見直し	野洲市					■		10		—
	A07-006	下水道	一般	野洲市	直接	—	管渠（ 污水）	新設	効率的な施設計画の見直 し	施設計画の見直し	野洲市		■					10		—

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	野洲市	直接	—	管渠（ 污水）	新設	湖南中部処理区関連 汚 水管の整備	管渠整備 φ200～100 L=2. 5km	野洲市	■	■				169	—	
	A07-008	下水道	一般	野洲市	直接		管渠（ 污水）	新設	効率的な施設計画の見直 し	施設計画の見直し	野洲市					■		20	策定済
	A07-009	下水道	一般	野洲市	直接		管渠（ 污水）	改築	野洲市公共下水道ストック マネジメント計画策定	野洲市公共下水道ストックマ ネジメント計画策定及び実施 (点検調査含む)	野洲市					■	■	50	未策定
小計																	1,029		
合計																	1,029		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

野洲市みず事業所上下水道課

事後評価の実施時期

令和3年10月

公表の方法

市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・下水道処理人口普及を93.5%から99.0%へ増加させることができた。
- ・マンホールポンプ老朽化対策率を54.8%から80.6%へ向上した。
- ・人孔長寿命化対策率を2.9%から10.5%へ向上した。
- ・浸水対策達成率を0%から2.4%まで増加した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

下水道ストックマネジメント計画を中心に、施設を計画的かつ効率的に管理し持続可能な下水道事業を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道の処理人口普及率（％）	
	最終目標値	97%
	最終実績値	99%
2	マンホールポンプにおける長寿命化対策率（％）	
	最終目標値	81%
	最終実績値	81%
3	マンホール蓋における長寿命化対策（％）	
	最終目標値	5%
	最終実績値	11%
4	都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合（％）	
	最終目標値	2%
	最終実績値	2%